

前回委員会での
論点について
(事務局まとめ)

1 ライフステージごとの取組

- 妊婦歯科健診受診率が低率なので、上げる対策が必要。

→ 平成25年度 16市町村で実施 資料2参照

- 市町村での小学校・中学校での歯科口腔保健に関する集団指導の実施状況把握は、正確に行われるべきではないか。

→ 正確に把握 資料2参照

2 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な人への対応

- 高齢化が年々進む状況では、歯科医師会、歯科衛生士会、老人福祉施設協議会、地域包括支援センターと市町村の連携が必要。
- ケアマネジャーに対して、歯科口腔保健に関する研修が必要。

→ 歯科口腔保健情報交換会を実施 資料3参照

3 社会環境の整備

- 歯科検診で口腔粘膜、顎関節疾患についてもチェックできるような体制づくりが必要であり、指標化を検討するべきではないか。

→ 歯科検診標準化検討事業を実施 資料3参照

- 市町村も歯科口腔保健の取組を積極的に推進すべきであり、県からのアプローチが必要。

→ 市町村歯科口腔保健検討事業を実施 資料3参照

- 市町村別データの年次順位変動について、原因の解明が必要。

→ 各種調査を継続してデータの蓄積をはかる